

～児童デイサービス グロース～
事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表日：2019年1月11日
 事業所名
児童デイサービス グロース 児童発達支援

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広々としていて過ごしやすい。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置されている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			スペースや空間、障害者が過ごしやすいうになっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			清潔で、心地よく過ごせる環境になるよう配慮している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議等で、課題や目標について、継続して検討している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価結果に基づいて業務改善につなげていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者等による評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月、及び適宜研修を実施している。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントと保護者からの聞き取り等を行い、計画を立てている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専用のアセスメントシートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			「本人支援」「家族支援」「地域支援」の項目に対する意識を強化し、計画を立てている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画に沿った支援ができるよう配慮している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の活動内容をその都度討議している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動内容の改善や変更等を随時行っている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			個別の課題が活動等の集団活動に沿ってできるよう支援している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼等、配慮事項等確認している。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼等、その日の振り返りを実施している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録を徹底し、情報共有できるよう配慮している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期及び、随時面談等を行い、計画を立てている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		モニタリング等の時に、実際に支援を行っているスタッフに参加を促している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	今後、連携を強化していく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	対応可能な範囲内で対応していく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	対応可能な範囲内で対応していく。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	今後、連携を強化していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	今後、連携を強化していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今後、連携を強化していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後、連携を強化していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	機会があれば積極的に参加する。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用時の状況等、随時報告を行っている。
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	専門的なペアレントトレーニングは現在実施していない。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時、その他随時において必要な項目の説明を行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○	ガイドラインを意識したアセスメント等を行っている。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談時等に、相談支援を行っている。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会を実施した。今後回数を増やす等の計画をしている。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者支援に関して、その都度適切な対応をとるよう配慮している。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		インターネット上で、情報を公開している。今後さらにいろいろな情報を提供できるよう計画している。

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人ファイル等は保管庫に保管。廃棄書類はシュレッダーを使用する等配慮している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			筆談や絵カードを使用する等、状況に応じて配慮している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			可能な範囲で地域交流を行っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアル等は、閲覧しやすいよう配慮している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害設備の点検及び、訓練を定期的実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用開始時の聴き取りの中で実施している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者等からの聞き取りをもとに、必要に応じて対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット、事故に関する情報はスタッフ間で共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修への参加、対応方法等適切にできるよう配慮している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在まで、身体拘束の必要性が生じていないが、その必要が有る場合は適切に対応する。